夕刊
五月二十五日發行
定價一部金五錢　郵送料金六錢
磐城新聞社
日曜祭日翌日休刊

鑛夫訓練法

古河好間炭礦勞働事務主任　前松佐嘉

三

申す迄もなく習慣なるものは反覆、即ち繰返すことによつて大部分が成立つのであります。故に作業の練習と云ふことは即ち動作の反覆と云ふことに外ならないのであります。又一方では人間は習慣に順應せんとする力がありまして、其の力によつて人間の習慣なるものが完全に出來上るのであります

故に作業の練習に當つて動作の反覆によつて新習慣を成立たしむると共に各鑛夫の身心を新習慣に順應せしめねばならぬのであります

若しも練れないものに遽かに重荷を負はせると、其の荷は力量相當であつても後に勞れの爲め其の荷を負ふことが出來なくなるものであります、故に作業の練習と云ふことは仕事から見れば練らすことであります、鑛夫自身からすれば其の精神を仕事に馴染ませることであります。假令仕事に練れることは早くても其の精神が仕事に馴染まない間は眞の練習は終らないのであります

仕事と云ふものは鑛夫の經驗の多少もあり、又能力の差もあり、意志の力に依つて容易に練れ得ても鑛夫の身神を其の仕事に馴染ませることは鑛夫それ自らの注意ばかりでは必ずしも出來ないのであります。殊に同採炭の業では餘程六つか敷しい事情であります、故に眞の勞働能率と云ふものは是等の作業の練習が十分に完成された場合、即ち練らすこと馴染むことの二つが出來上つて初めて成立ちます

作業の練習なるものは斯樣に考へるときは作業の指導はするが、練習は鑛夫委せ

かせて棄て置いた是迄の通り方は大なる誤りであります。又作業の練習は鑛夫の動作的習慣の固定を目的とする許りでなく、常任に其の肉体と精神との訓練を伴はしめねばならぬことは明かとなるのであります、故に作業の練習と云ふ仕事の中には肉体、並に精神の訓練、即ち衛生、並に教養の練習と云ふことを忘れてはなりません。而して衛生並に教養の練習は新たに採用した當分の鑛夫に對しても不斷の練習が是非共必要とせらるゝ所以であります

之を要するに作業の練習は鑛夫の仕上げてありましたものを鑛夫の規則も節制も勞働

て鑛夫の規則も節制も勞働能率の多少も延いては勞銀の多少を作業の練習によつて決定せらるゝ事になるのであります

磐城歌壇

新妻久滿夫選

詠草　青葉露子

○取り殘せし獨活は木となりてこの畑に、地虫の聲をきける靜かさ

○雨晴れの夕べ明るし父と喰ふ、茗荷の汁の匂ひしたしも

○咲き誇る濃き紫の庭牡丹、雨降りくれば傘さしてやる

○裏畑にほの〻〻咲きしるんどうの、ともしき香なつかしみけり

○づゝらの花しどろに濡れて雨の日は、桃割れなどに髮結ふてみし

小評　平和な心境に居て歌を詠まれてゐる作者の靜かな纖細な觀察眼は結構なことゝ思ふが、あまり印象が新しい爲か、そのものにとらはれて了ふ傾向がある。隨つて咏嘆の詞を用ひても變が後く只詞だけの咏嘆となつてゐる。一般に苦しみの足りない歌と思ふ。而し伸々作り馴れてゐて自由な詞の用法など感心する點多し。（訂正箇所に注意）

春の風吹き來る潮の香りかな　同
春風に舞妓の袖の埃りかな　石城
春の風軍鷄勝をほこるかな　同
御手植の松にたゝつめば春の風　武門
春風や山高く吹き足かろし　雲水
4　春風に押し立てゝゆく團体旗　香村子
3　落花浮く朝の池の緋鯉かな　水菊
夕陽の丘一面に落花かな　同
あてやかに落花の中に舞ひにけり　香村子
吹き寄する落花の湖や捨小舟　石城
5　ひとり來て雨に落花を惜しみけり　晩霞
秀逸　岡本機柳先生選
遠山に湧く雲淡き卯月かな　松堂
花も見ず我は袷の卯月かな　石城

うしほのこゑ

岡本機柳先生歡迎句會

席題　卯月、春風、落花

互選

4　遠山に湧く雲淡し卯月空　松堂
3　莖立の花となりたる卯月かな　同
3　快き旅のつかれも卯月かな　晩霞
寢足らざる窓の雀子卯月朝　同
降りもせず曇りも晴るゝ卯月空　雪水
沼青み芦の青める四月かな　水明
花も見ず我は袷の卯月かな　石城
春風やかさとゆさふる八つ手の葉　松堂
3　青菱の一尺ばかり春の風　同
猫柳ほゝける蕊や春の風　水明

社會の今日

○五月空曇りて霽れず水はりし、田中の蛙鳴きそふなり　佐藤宗助

音立てゝ笠に虫落つ夏木立　蘇北

幻影

岩瀬武夫

菜の花の靜に散りしかれた海岸平野にかすんでゐる臺地をみつめてゐると胸をせきあげて來る哀惜がある

一きは高い殘丘のなだらかなすその長々と續く台地が薄煙る海面に消えるあたりにはつきりしないのだが憂はしい乙女の立ち姿が見らる樣だ

鮮紅

みな青葉、山家の庭に咲きいでし、一もとつゝじ初々しかり

社會の今日

5月26日（安政四）△宇治川合戰（治承四）△下田條約成る△イブセン死す（一、九〇六）△齊藤新内閣成る親任式擧行さる△上海派遣軍司令官白川義則大將逝く△岐阜縣船津町大火、三百四十戸燒く△富山縣守山、二上兩村に跨り大火、非住家とも二百四十戸燒失△馬占山萬福麟軍のため監禁され軍政部長を罷免さる（昭和七）

新刊紹介

△磐城公友五月號（一部二十錢、南町七一其社）

講談

浪人長屋

日岐武志作　月草道子畫

(96)

わるだくみ

『ばかだな、早ッ氣の野郎だな物事は、しつかり考へてからやるものだ』

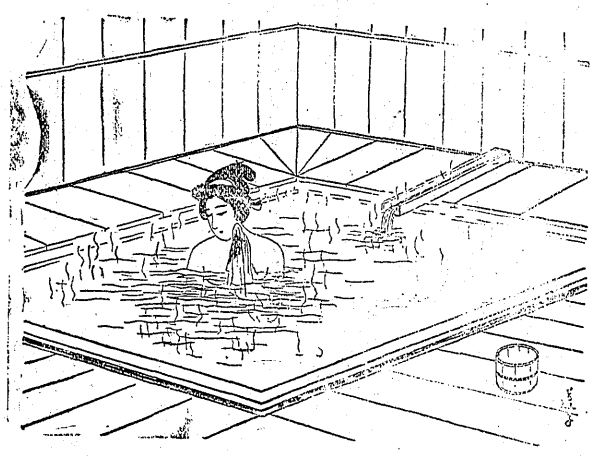
『ちや、どういふ段取にしやせう』

『あはてるな、今、よい智慧を授けて仕はす、よいか』

玄内は、一平の耳元へ、そッと何かさゝやいた

一平の眼が、おどろいたやうにぎろッと、動いた

『どうせ、荒療治をしなきた



やこつちのものになる筈はない』

『へえ』

『まア、夕飯でも食つてから、あの娘がどこに宿をとつたか、探つてこい、その上で、またよい勘考を授け

て遣はす』

『へえ、ようがす』

一平は、いやしい笑ひを浮べてうなづいた

小菊は、上州屋の前で馬をとめた

『いらつしやいまし』

『お疲れさまでございます！』

『毎度、有難うぞんじます』

毎年きまつて湯治にくる華客であるから、上州屋の主を始め、番頭や女中たちは愛想をつくして出迎へた

小菊は、馬から下りると馬子の太七に

『今晩は、こゝでゆつくり休んで明日歸ることにしておくれ』

太七は、にこにこしてゐ

『ありがたう、ごせわます！』

『さうしておくれ、ごくろうさま』

『どういたして、ありがたうございました』

小菊は草鞋の紐をときながら

『この馬子さんも、どこかで休ませてあげて下さいな』

『へ、かしこまりました。どうぞお若い衆おあがんなさいまし』

と、主は、太七にいつてから

『お嬢樣のお部屋は、いつもの離れの方を、あけてをきましてございまする』

と、もみ手をしてゐた

『あ、さう。ありがと、またご厄介さまになりますね！』

『どういたしまして、毎度のご贔貶さまで、ありがたい仕合せでございまする』

と、太追從笑ひ

小菊は、離れへ通された

毎年今頃になると、きつとこの宿の、この部屋にきて、十日や二十日は逗留してゐるから、部屋に入つてくつろぐと、なつかしさが胸に湧いた

去年までは、母の小花に連れられて來たのであつたが、母亡き今としは、はじめての一人旅であつた追分からこの草津までは、馬子の太七が供をしてくれたから、氣丈夫に思はれたけれど、明日から一日ぼつねんと、この部屋にゐるのかと思ふと、さみしい氣がした

『靜香さんを連れてくればよかつた。どんなになぐさめられるかしれない……』

旅仕度をとると、小菊はさつそく湯殿へいつた

内湯である

こんこんと注ぎ入る溫かい藥湯、もうもうと、立ちのぼる湯氣

湯花の香りが、ぷんと、なつかしくにほつた

小菊は、しみじみと、湯の中に身を沈めて、しばらくの間うつとりとしてゐた

美味で評判の
イワキサロン
平町電三五二

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三十丁
安積中學より約五丁
郡山市外大槻村針生
郡山腦病院
電話九二五番
院長　醫學士　金森五郎
（入院隨時）

生花教授
池ノ坊　生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

福山の景品附割引大特賣
移轉御披露
初夏之候各位益々御清榮之段奉欣賀候、陳者弊店儀平素各位の御愛顧御引立を蒙り難有御厚禮上候、今般御得意樣の御勸めにより營業擴張の爲め左記の處に移轉仕り從前より層一層の勉强仕り候間何卒倍舊の御引立を賜はり度御願申上候、平素の御高恩に酬ゐる爲め移轉祝として景品附割引大特賣仕り候間何卒御買求め下され度御願申上候
◎御買上の御客樣には移轉披露の爲五月二十八日迄向一週間洩れなく景品差上ます
平町二丁目六番地（山家メリヤス店向）
自製革靴　各種カバン類　革製品一式　ゴム靴運動靴各種
福山靴鞄店

生徒募集
婦人小供洋服
洋裁刺繍專門
◎普通科＝二ケ月卒業
◎高等科＝三ケ月卒業
◎刺繍科＝二ケ月卒業
入學隨時。ミシン貸與
就業紹介。無試驗入學
平田町　石川元康
シンガー裁縫女學院

開業
一、齒科一般　保存、補綴科、繼續架工科　齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野惠次
日本齒科醫學士　西川誠
平町田町（松月堂向と）電話五〇九番

診療科目

磐城共濟病院（福島縣平町）（電話六四一番）
◎毎日午前八時ヨリ
◎夜間診療開始（毎夜午後十時迄）
◎病室完備　入院隨意
內科　院長　醫學博士　石山謙郎　電話六四一番
小兒科　副院長　醫學博士　五十嵐雄二　電話三七〇番
產婦人科
外科　部長　醫學士　齊藤七五三男
耳鼻咽喉科
皮膚泌尿器病科　部長　醫學士　前澤正　電話二七二番
花柳病科
X光線科　醫學博士　石山謙郎
物療科　技手　石山彪
衛生試驗所　獸醫　高後利雄
藥局　藥劑師　吉本孝平
事務長　鈴木寶雄

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地
山內醫院
入院隨意
醫學士　山內亨吉
病室完備
電話六九一番
（看護婦見習一名入用）

生徒募集
◎ミシン裁縫、裁斷、教授
女性の一生を保護する趣味的職業として洋裁を知らねば恥の時代となりました
磐城女子洋裁專門學校
◎本校獨特の實際に役立つ斬新裁斷法
◎實力主義で氣安く習へる個人的教授
◎ミシン使用無料・材料貸與
平町白銀町十五番地
（詳細學則郵券二錢）

新車御披露
乘心地のよい三四年式デラックスセダンが入車致しました
貸切の御用命の際は是非電話六八五番へ御試乘の程願ます。
平町貳丁目
三井タクシー
電話六八五番

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
「入院のお需めに應ず」
齒科口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木喜政
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

紡績の前途悲觀から需要高或は幾分減少か

地方炭は一に一沫の不安漂ふ

常磐地方の石炭生産高は

（單位千噸）

	有煙	無煙
年次		
七年	一九四五	四三
八年	二二八	四六三

で有煙無煙共漸増の道程を辿つてゐるが、貯炭數量は反對に逐年減少しつゝある即ち昭和五年以降の貯炭量を其筋の調査によると

五年	四一、一一三噸	
六年	五〇、七五九	
七年	三九、六七四	
八年	一六、九八二	

で漸減の傾向顯著なるものがある、由來常磐炭は東京千葉、神奈川、栃木、茨城國旗揚揚式、講話等を行ふの關東地方の紡績工業地を主要市場としてゐる關係上を慮し兒童のポスター、綴爲替安の好條件に乘つた該地方の紡績工場が生産力を漸次増大した結果によるものである、從つて日蘭會商日蘭協議の前途悲觀から紡績業者は從來より或る程度の操短方針をとらざるを得ない關係と、生糸の先行軟調によつて本年の繊維工業生産減は一般に豫想されてゐる結果、貯炭數量は昭和五、六年に還元するのではないかと見られる

鋪裝工費に基本金流用

平町一丁目—五丁目間の國道鋪裝工事は半減された工費一萬五千圓で愈々七月初旬着工に決定

僚友の死を知らず安否を氣遣ふ

上田病院の島田大尉

塔乘者三名中の生存者島田誠大尉、三浦兵藏特務中尉の兩名は中町軍醫大尉附添ひ昨二十四日午後七時自動車にて平町南町上田外科醫院に入院したが一時重態を傳へられた島田大尉は今二十五日午前五時漸く意識を恢復し嚴秘に附されてある操縦者增田大尉の死を知らず其の安否を氣遣つての問ひに周圍を涼かしめたと

兩大尉略歷

增田作治大尉 大阪市天王子正細工谷町一の二出身の兩日軍式小名濱築港事務大正三年七月海軍少尉候補生、同十四年十二月少尉、昭和二年十二月中尉、同五年十二月大尉に進級、八年十一月高等學生として追濱飛行隊に入隊

島田誠大尉 岩手縣盛岡市加賀の出身、大正十四年七月海軍少隊候補生、同十五年十二月少尉、昭和三年十二月中尉、同六年十二月大尉に昇進、七年十二月高等科學生として追つた

合併地實測

中潟技手來平

都市計劃の平町では既報の如く合併五ヶ村隣接部落の測量及各稅調査に乘り出すべく準備を進めてゐるが來る廿八日頃來平する縣土木技手の指導の下に開課中潟技手の指導の下に開始することになつた

海軍記念

佑賢學舍

自轉車行軍

明後海軍記念行事

愈々明後日に迫つた第廿九回海軍記念日に當り磐城佑賢學舍では松本講師を隊長とする九十九名の自轉車隊（各車日章旗及ゼット旗掲）を組織し、當日午前八時半學校を出發、田町大通りから大工町、本町を公園に入り忠魂碑參拜、皇居遙拜、萬歳三唱の上綴、湯本を經て小名濱町に至り壹食中の作、江名、豊間を經由歸町、月見町入口に於て四千葉、神奈川、栃木、茨城國旗揚揚式、講話等を行ふの關東地方の紡績工業地を主要市場としてゐる關係上を慮し兒童のポスター、綴爲替安の好條件に乘つた該地方の紡績工場が生産力を漸次増大した結果によるものである、從つて日蘭會商日蘭協議の前途悲觀から紡績業者は從來より或る程度の操短方針をとらざるを得ない關係と、生糸の先行軟調によつて本年の繊維工業生産減は一般に豫想されてゐる結果、貯炭數量は昭和五、六年に還元するのではないかと見られる

浄水二斗を献上

宮殿下沼の内御成り

久邇宮朝融王殿下には今廿五日午後一時小名濱を自動車で御出發、豊間村沼の内辨財天に成らせられたので同村では御浄水三斗三瓶を献上した

柔道戰台覽

木曾艦對平署

木曾艦乘組員對平署外有志客八名の柔道試合は今廿五日午後三時から小名濱小學校舊設道場で催されたが久邇宮殿下の御臺臨を仰ぐやも計り難いとあると

海軍記念

三曲演奏會

平曙風會では喜の華會後援の下に海軍記念日の明後二十七日午後五時よりマルトモホールに左記第三回三曲演奏會を開催するが出席豫定十七名盛況を想されてゐる

白の聲、御山獅子、近江八景、末の契、松上の鶴、熊野、春の曲、若菜等十五種

鐵道員素謠會

平驛では二十七日午前十時より觀世、寶生、喜多の九年度三派合同、左記素謠大會を倶樂部に開催すると

觀世—百萬、杜若、鵜飼

寶生—滿中、忠度、櫻川

喜多—八島、千壽、草紙洗小町

第三海軍記念展 平第三二分平發磐東線で郡山、須賀川、安積郡大槻村の視察に出張した

飯野校增築

村長外視察員出發

飯野村では小學校增築のため伊藤村長外助役村議十二名が今廿五日午前五時四十分平發磐東線で郡山、須賀川、安積郡大槻村の視察に出張した

豊間江名繼續工事着手

浚渫と防波堤新設

豊間港繼續工事である延長七十米の防砂堤改築及船引上場前港口の浚渫工事は工費一萬二千圓で何れも此程着手し一萬二千圓で、江名町昨年度殘餘分浚渫工事は工費約四十餘名であると

重要部分を除き破壞機を燒却

十名の整備隊來着

滾飛行隊に入隊したもの

墜落海軍機の處置に關し原隊から糸山機關大尉外十名の整備隊が昨二十四日午後四時二十五分平着列車にて到著、機体に重要部分を除き燒却する事になつた

五十嵐共濟病院副院長祝宴

平町 磐城

共濟病院副院長産婦人科部長五十嵐雄二氏は此程醫學博士の學位を授與されたので明後二十七日午後五時半から谷口樓に各方面の知友多數を招き披露の清宴を張ると

公園池で競賣釣會

昨報—松ケ岡公園

辨天池魚類に關しては町會で議決の結果釣獲り限り五日の期間で競賣する事になつたと

グラウンド開きに硬軟式野球大會

廿六七日湯本の爭覇戰

湯本町では今回の大グラウンド完成を機とし廿六、七日湯本の爭覇戰

港 平ト瀬松木藤口島越

築 大馬川小佐光最桑大

同日午後二時

商 脇田澤ト木坂木野

平 森 西沼會森佐赤鈴日

磐 川野澤子山坂兒野弟

中 石小百增秋上阿草阿

廿七日午前十一時

山 坂田本野妻井木間本

入 石西坂荻鶴國高佐塚

同日午後二時半

中央の巨人を迎へ磐中野球部精進

來縣下大會に備ふ

磐中野球部では縣下大會の地元たる關係から殊に多田小林氏等の優良コーチャーを招き今年こそは意氣物凄く熱球沙を噛む猛練習を續けて居るが今二十五日より三日間元早大選手池田豊氏を招き更に練磨を續けると、尚同校野球部では近く本商、水工等と對戰すべく遠征を計劃してゐる

第三校外監督

平第三小學校では既報の如く兒童の監督上生徒より校外取締役員を任命したがこの程教員の取締分擔左の如く確定した

第一區（鎌田方面）菱沼、遠藤、天川 第二區（立町）矢代、佐藤、鈴木 第三區（福宜町、手綱町）長谷川、西牧 第四區（四五丁目）石出、小泉、橋本 第五區（大工町、白銀町）蛭田、大竹、根本 第六區（新川町、堤の内）新家、三本杉、小野 第七區（月見町）吉田（ミ） 第八區（大町）

隆るか空梅雨かで

小名濱測候所で研究開始

小名濱測候所では來月十二日が暦面上の入梅となるのでそろ〳〵今年の梅雨期中の降雨豫想調査の準備に着手したが、今年は雨が多いか或は空梅雨に終るかは農作物成育に非常な影響をもたらすので一般農家からも大いに注目されてゐる、右について同所では梅雨と最も關係の深いのは北海道根室の九月中の氣溫高低で根室地方が五月中に寒ければ降雨量が多く、比較的暖かであれば空梅雨に終ることになるから根室測候所の報告を受けた上でなければ豫想發表は出きない。右の報告は六月六、七日頃到着するから從つて當所の豫想發表は六月十日頃になるであらう

と語つてゐるが、暦面上の梅雨は十二日となつてゐても當地方は實際はこれより半月位は遅れることが普通で矢張り本格的な梅雨は六月下旬からであらうと

關係重大なので

降るか空梅雨かで

祝賀運動會

けふ湯本校の賑ひ

俱平 坂部木武林野原信藤熊

井阿鈴佐小星柏佐藤

邊口野森樂井川本出

磐 渡谷清大設涌隈根森

投捕—23遊左中右

湯本校增築校庭擴張竣功祝賀郡下小學兒童運動會は今廿五日午前九時から新設大グラウンドで開催したが參加は左記十七校であると

玉川、磐崎第一、磐崎尋高、植田、平第一、第二第三、渡邊、上遠野、内郷第三、内郷尋高、泉、田人、入山、湯本、小名濱 江名、鹿島、湯本

勤續教員表彰

來月三日平第一校講堂に開催する縣教育會石城部會總集會に左記勤續者を表彰すると

（二十五年勤續）内郷第三校長柴田正則、四倉代教長谷川友太、江名校長振旗弘（五年無缺勤）内郷第三訓導鈴木トヨ、同第二訓導高木勝男、山田校長安齊清七、同訓導林竹彌神谷校長鍬田安、同訓導佐藤忠一

市計劃の平町

南町）小松・山下、古川

改修個所踏査 小林平土木監督所長及大槻技手は今廿五日過般の津浪で欠潰した久ノ濱海岸及小名濱漁港防波堤、江名濱通路直下の護岸破損個所の實地踏査をなした

各區委員推薦 此程の平町會で推薦した各委員左の如し

（土木）小野伊佐治、花澤久一郎、高橋亀松、酒井清、吉田寅之助、荒川後次郎、新井滋造（傳染病豫防）吉田金作、佐藤幸太郎（水道補欠）川崎文治

平商職員會議 平商では職員會議を開き左記諸項を協議した

海軍記念日、トラホーム治療、ラヂオ体操、七曜日以外の映畫館出入禁止

新設電話抽籤

平局

平商職員會議 平商では今二十五日午後二時半より本年度電話開通申込者は割當數四箇に對し七名であつたため明二十六日午前十時より同局樓上に於て抽籤の降雨豫想調査の準備に着手したが、今年は雨が多いか或は空梅雨に終るかは農

巷の埃

幕末三奇人の一人 高山彦九郎鎮魂祭 目かの後裔といふ

上小塙字中島二六日雇前科二犯高木長吉（四八）は三月二十八日午前一時頃同字袖山川原六農樋田庄藏方に侵入、同家の長女サク（三三）に暴行せんとして果たさず逃走したが此の程平區より略式罰金二十圓に處された

市計劃の平町

氣溫高低で根室地方が五月中に寒ければ降雨量が多く、比較的暖かであれば空梅雨に終ることになるから根室測候所の報告を受けた上でなければ豫想發表は出きない。右の報告は六月六、七日頃到着するから從つて當所の豫想發表は六月十日頃になるであらう

と語つてゐるが、暦面上の梅雨は十二日となつてゐても當地方は實際はこれより半月位は遅れることが普通で矢張り本格的な梅雨は六月下旬からであらうと

簡保事務打合 東部三等局長會第二區幹事區會（上平外平附近十四局長）では明二十六日平局樓上に保險年金奬勵打合會を開き勧誘法、近く及相馬郡中村に開する東部三等局長會に關する件其他を協議すると

詐欺 双葉郡木戸村大字上小塙字中島二六日雇前科二犯高木長吉（四八）は三月二十八日午前一時頃同字袖山川原六農樋田庄藏方に侵入、同家の長女サク（三三）に暴行せんとして果たさず逃走したが此の程平區より略式罰金二十圓に處された

市計劃の平町

氣溫高低で根室地方が五月中に寒ければ降雨量が多く、比較的暖かであれば空梅雨に終ることになるから根室測候所の報告を受けた上でなければ豫想發表は出きない。右の報告は六月六、七日頃到着するから從つて當所の豫想發表は六月十日頃になるであらう

と語つてゐるが、暦面上の梅雨は十二日となつてゐても當地方は實際はこれより半月位は遅れることが普通で矢張り本格的な梅雨は六月下旬からであらうと

簡保事務打合 東部三等局長會第二區幹事區會（上平外平附近十四局長）では明二十六日平局樓上に保險年金奬勵打合會を開き勧誘法、近く及相馬郡中村に開する東部三等局長會に關する件其他を協議すると

詐欺 女詐欺に一年求刑 稀代の女詐欺湯本町八仙セツ事荒川せち（三九）が一昨年八月より去月迄萬八證書を種に各方面から大金を詐欺した事件の公判は昨二十四日午前十一時より中島判事、野木檢事係り開廷、懲役一年の求刑あり二十八日言渡しある筈

觀測通り滿場一致

採掘反對答申決定

昨廿四日の平町會

近來の重要案件を盛られた平町會は既報の如く昨廿四日午後二時から開き

土木費指定寄附、縣工事鑛山監督局へ陳情した野崎請負申請、小學校建設費委員から

起債、通路修築費起債、小學校基本金一時運用、九年度豫算更正、寄附採納の諸件を議決後愈々磐炭出願の平町地下採掘に關し仙臺其他地震上に變災あつた場合を假定するならばそれこそ平在住民の死活問題である、平は新川以南へ延びる町であり明治炭の例なく、從つてこれが三十九年以降試掘の許可を得てをり採掘願ひの許可あつても直に採炭するのでなければ現狀維持でよい

と前野崎議員同樣、磐炭鑛上議長より過般出仙陳情した火災保險料率引下げ及郡下平町民の利益を擧げたが、野崎氏より全國に二千尺採炭の例なく、從つてこれが被害程度も判明せぬが今回は此の分で監督局から技術的調査を命ぜられた場合はその時考慮する事として滿場一致反對答申に決定後井